

東京都台東区の否定の表現

三井 はるみ

I はじめに

1. 調査対象地：東京都台東区は、東京の東部に位置し、いわゆる下町と呼ばれる地域である。浅草と上野の二つの繁華街を抱え、江戸時代以来、庶民文化の中心地として栄えてきたが、関東大震災と第2次世界大戦時の戦災では、二度にわたって大きな被害を受けた。人口は162,969人(平成2年国勢調査)。昭和30年代後半以降、スプロール現象により減少傾向にある。調査地の浅草橋地区は区南部の、JR浅草橋駅北側に位置し、玩具・人形・文具などの問屋、紙・繊維などの加工業の町工場、そして、住宅が混在する地域である。話者宅の所在地は、旧町名を向柳原(ム「コーヤナギワラ」といい、古くから、商家と職人の町であったという。
2. 調査年月日：1994年11月13日 14:00~15:30
1995年 7月 4日 補充調査
3. 話者：三浦秀雄氏 大正元年9月26日生(82歳) 男性。袋物職人。出生後まもなくから現住所に居住。外住歴なし。
4. 調査者・調査場所：三井はるみ、話者宅
5. 調査方法：統一調査票による面接質問調査
6. その他：① 音調は方向かぎ式で示す。文末の上昇音調は↑で示す。
② ガ行鼻音はガ・ギなど、母音の無声化はキ・クなどで示す。また、半長音を(-)で示す。
③ 話者による説明は()でくくり、調査者による説明は〈 〉でくくって示す。

II 調査結果

① 動作・作用の否定表現

- 1 行かない ○「キョーワ 「ア」メダカラ ド「コエモ {①イ「カナイ ②イ「カネーヨ〈誘導〉 ③イ「カネーヨー ④ヤ「メトコ」ヨ(親しい友だちに)}。
- 2 降らない ①「キョーワ「ネ」ー 「ア」メ フ「ラ」ナイヨ↑。 ②フリ「ソー」モ「ナ」イ「ネ
- 3 行きません 「キョーワ ド「コエモ イ「キマセ」ンカラ。
- 4 行きはしない ①「キャー イ「カネー」ヨ。 ②「キョーワ イ「カナイ」ヨ。 ③イ「キャー シ「ネー」ヨ〈誘導〉

* ①〈キャー く キョーワ〉

* (③は昔からの職人ことばという感じ。相手がそういうことばつきで話せば、こちらもそのように言うだろう。)

5 いらっしやらない ○「キョーワ」「センセーワ」ド「コエモ ユ「カナイソ」ーダ「ヨ。

6 行かなかった ○キ「ノーワ」ド「コエモ イ「カナ」カッタ「ヨ。

7 行きはしなかった ○ド「コエモ イ「カナ」カッタヨ。

* (イ「キャー シ「ナ」カッタ〈誘導〉という言い方も聞くことはある。相手がそのような言葉遣いで話してくれば自分も言うだろうが、今ではそのようなことばを使う人がほとんどいなくなってしまった。昔から比べるとことばは丁寧になっている。)

8 行くまい ○「キョーワ」「ア」メガフルカラ ド「コエモ イ「カナイ」ヨ。

* (イクマイ のような「マイ」ということばは使わない。自分の親の世代の人は言ったかもしれない。古い言い方のように感じる。)

9 出まい 「デ」ナイ「ヨ。

10 すまい ナ「ニモ シ「ナイヨ。

11 降らないだろう 「キョーワ」「タ」ブン コ「ノ グ「アイジャ」ー フ「ラ」ナイダ「ロー。

12 降るにちがいない ○ア「シ」ター {①「ア」メダロー ②「ア」メニ 「ナ」ル「ヨ マ「チガ」イ 「ナ」イ「ヨ ③マ「チガ」イナ「ク 「フル」ヨ}。

* (②は確信の強い言い方)

13 来ない ○「キョーワ」ダ「レモコ」ナイカラ ドー「ソ。

14 来はしない ○ダ「レモ」「コ」ヤ シ「ネー」ヨ。(相手がしつこく問い返して来るときの言い方)

* (ダ「レモ」「キ」ヤシナイ〈誘導〉とも言うかもしれない。)

15 来なかった ○キ「ノー」ワ ダ「レモ」 {①「コ」ナイヨ↑ ②「コ」ナカッタ「ヨ〈誘導〉}。

16 見ない ①「キョ」ワ ダ「レモ」「ミ」ナイ。(少) ②ダ「レニモ」ア「ワ」ナイヨ↑。(多)

17 居ない ○キョー「ワ」ウ「チニ」ワ ダ「レモイ」ナイヨ。

18 行かずに ○「キョー」ワ ド「コニモ」イ「カナイ」カラ イ「チンチ」ジュー ウチニイル「ヨ。

* 〈「イチンチ」と「ジュー」の間に言いよどみあり〉

19 行かなくても(よい) ○「ワ」ザワザ イ「カナ」クテモ 「イン」ジャナイ↑。

20 行かなければ(よかった) ○「ワ」ザワザ イ「カナ」キャ「ヨ」カッタ「ヨ。

- 21 行かねば(ならない) ○アシ「タ 「ド」ーシテモ イ「カナ」クチャ ナ「ラ」ナイ「カ
ラ」。
- 22 行かねばならない ○イ「カナ」クチャ ナ「ラ」ナイ
- 23 ～ズ(ヤ・ジャ・ダ) ○言うことはない。
- 24 行きもせず、～来もしない ○ア「ノ」ヒ「ト」トワ オ「タ」ガイニ イ「ツ」タ「リ」キタ「
リ」 コ「コ」ントコロ シ「ナ」イカラ。
- 25 行くか行かないかわからない ○アシ「タ」モ イ「ク」カ イ「カナ」イカ {①ワ
「カラ」ナイネー ②ワ「カ」ンナイ「ネ」ー〈誘導〉}。

② 存在・状態・判断の否定表現

- 26 無い ○ウ「チ」ニ「ワ」 コ「レ」シカ 「ナ」イ「ヨ」。
- 27 無い(ねえ) ○コ「ト」シノヨ(-)「ニ」 ア「ツ」イトシ「ワ」 「ナイ」ネー。
- 28 ありはしない ○コ「ト」シノヨ「ー」ニ ア「ツ」イ ト「シ」ワ 「ア」リヤ シ「ナイ」
「ネ」ー。
- 29 無かった ○コ「ト」シノヨ「ー」ナ ア「ツ」イ ト「シ」ワ イ「マ」マ「デ」ニ 「ナ」カッタ
「ネ」ー。
- 30 ありはしなかった ○コ「ト」シノヨ「ー」ニ ア「ツ」イ ト「シ」ワ イ「マ」マ「デ」ニ {①
「ア」リワ シ「ナ」カッタ「ネ」ー ②「ア」リヤ シ「ネ」ーヨ〈誘導〉}。
- * (②はごく親しい人と)
- 31 無いだろう ○コ「ト」シノ「ヨ」ー「ナ」 ア「ツ」イトシ「ワ」 「モ」ー「ナ」イダロー「ネ」ー。
* (ネーダローナー という言い方は、相手がそういう調子でしゃべってくれば、
たまには言う。)
- 32 無ければ(いい) ○「コ」ンナア「ツ」イ ナ「ツ」ナンカ 「ナ」ー「ケ」リヤイ「ン」ダヨ「ネ」。
- 33 暑くない ○「キョ」ー「ワ」 アン「マリ」 「ア」ツク 「ナ」クッテ ラ「ク」ンナッタ「ネ」。
- 34 暑くはない ○「キョ」(-)「ワ」 アン「マリ」 {①「ア」ツク「ア」ナイ ②「ア」ツク「ア」ネ「
ー」〈誘導〉}。
- * (「ネーことば」で話す時には言うだろう。)
- 35 暑くなかった ○「キョ」ー「ワ」 アン「マリ」 「ア」ツク 「ナ」カッタ。
- 36 暑くはなかった ○「キョ」ー「ワ」 アン「マリ」 「ア」ツク「ア」 「ナ」カッタ「ネ」。〈誘導〉
- 37 暑くないだろう ○コ「ノ」ブ「ン」ナラ アシ「タ」モ 「ア」ツク 「ナ」イダロー。
- 38 涼しくない ○「キョ」ー「ワ」 マ「ツ」ト「モ」 ス「ズ」シク 「ナ」イ「ネ」ー。
- 39 にぎやかでない ○「アン」マリ ニ「ギ」ヤカジャ 「ナ」イ「ヨ」。
* (ニギヤカデナイ という言い方は聞き慣れない感じがする。)
- 40 にぎやかではない ○「アン」マリ ニ「ギ」ヤカジャ 「ナ」イ「ヨ」。

- 41 にぎやかでなかった ○ム「カシワ ニ「ギ」ヤカジャ 「ナ」カッタヨ。
- 42 にぎやかではなかった ○ム「カシワ ニ「ギ」ヤカジャ 「ナ」カッタヨ。
- 43 にぎやかではなからう ○ア「ノヘンモ 「イ」ゼンノヨーニ ニ「ギヤカ」ジャ
「ナ」イ「ヨ」。
- 44 花ではない ○ア「リヤー ハ「ナ」ジャ 「ネ」ーヨ。

③ 特定の慣用句による否定(不可・禁止)表現

- 45 だめだ(不可) ○ソ「ンナコ」ト 「イ」クラヤッタッテ ダ「メ」ダヨ。
- 46 だめな(不可) ○ア「イツァ ダ「メ」ダヨ。
- 47 つまらない(不可) ○ツ「マンネー」コト 「ユー」ナ「ヨ」。
- 48 いけない(禁止) ○「ソ」ンナト「コ イッ「チャ ダ「メ」ダ」。
- 49 行カレン(禁止) 「行カレン」とは言わない。
- 50 行くな(禁止) ○「ソ」ンナト「コ イ「ク」ナ」。
- 51 するな(禁止) ○「コ」ラ イ「タズラ ス「ル」ナ」。
- 52 行くもんじゃない ○「ソ」ンナト「コエ {①イッ「チャ ダ「メ」ダ「ヨ ②イ「ク」ナ}」。
- 53 たまらない ○「キョ」ーワ 「ア」ツクッテ タ「マンネー」「ネ」ー。
- 54 しかたがない ○「コ」ラー 「ア」メー ヤ「ム」ノー 「マ」ッテテモ ショ「(-)ガ」ネ「
ー「ネ」ー」。
- * 〈コラー < コレワ〉
- 55 楽ではない ○コ「ン」ナ ア「ツ」イトキ「ワ ト「ー」クマ「デ ア「ル」クノア タイヘ
ン「ダ」ネ「ー」ラ「ク」ジャ「ネ」ーヤ。
- 56 歩きたくない ○コ「ン」ナト「キワ 「ソ」ンナニ ト「ー」クマ「デ ア「ル」キタ「ク
「ネ」ー「ネ」ー」。
- 57 大丈夫だ ○シ「ン」パイ シ「ナ」クテモ ダ「イ」ジョブ「ダ」ヨ。「ナ」ントモネ「ー」ヨ。

④ 否定の応答表現

- 58 いや ○「ヤ」ー コッ「チャ」ー フ「ラ」ナカッタヨ。
- 59 いや(強い否定) ○「ヤ」ー フ「ラ」ナカッタヨ。
- 60 いいえ ○「イー」エ フ「リマセ」ンデ「シ」タ「ヨ」。
- 61 いや(否定の問いかけに対する応答)
- 1) 降った場合 ○ア「ー フ「ッ」タ「ヨ」。
- 2) 降らなかった場合 ○「ン」ー フ「ラ」ナカッタ。
- 62 どういたしまして ○「イー」エ 「ド」ーイタシマ「シ」テ。

⑤ 不可能の表現

63 できない

1)不可能 ①ソ「リヤー デ「キマセ」ン「ネ。②ソ「リヤー 「ム」リダヨ。(多)

2)可能 ○デ「キ」ルヨ。

64 読むことができない(状況)

1)不可能 ○コ「ノアカリジャ」ー ク「ラスギテ ヨ「メ」ナイ「ネー。

2)可能 ○ヨ「メ」ルヨ。

65 読むことができない(能力)

1)不可能 ○コ「ノコ」ワ 「マ」ダ イ「チ」ネンダ「カラ 「シンプン」ワ ヨ「メ」ナイ「ヨー。

2)可能 ○「シンプン」 {①ヨ「メ」ルンダ「ヨ ②ヨ「メ」ンダヨ(誘導)}。

66 出られない(心理的状況) ○コ「ラ ハ「デスギ」テ ト「テモ マ「チエ」ワ デ「ラ」ンネー。

* 〈コラ < コレワ〉

67 食べられない ○コ「ノ「キ」ノコ」ワ タ「ベラレ」ナイヨ↑。

68 食べることができない ○イ「ソガシ」クツ「テ シ「ルメシモ タ「ベラン」ネン「ダ。

⑥ 反語・反発の強調表現

69 知るものか ○ソ「ン(-)ナコ」ト オ「レガ」 シ「ルモ」ンカイ。

70 誰が行くものか ○「ソン」ーナト「コエ 「ダ」レガ イ「クモ」ンカ。

71 なんて行くか ○「ソン」ーナ ト「コ」エ {①「ナ」ンデ ②ナ「ー」ンデ} イ「クモ」ンカ。

* (②は①より「強い」言い方。)

72 なんて恥かしいものか ○ナ「ー」ンデ ハ「ズカシガ」ンダ「ヨ」ー。

73 行かないでおるものか ○ド「ー」シテモ オ「レ」ワイクヨ。

74 やれるか ①ヤ「レル」ワ「ケ 「ネ」ーカラ ヤ「メトケ」ヨ。 ②オ「マエサンニ」ワ「ム」リダヨ。デ「キ」ッコ 「ネ」ーヨ。

* (ヤレルカイ とは言わない。ヤレルモンカ という言い方はあるが、自分はそのまで強い言い方はしない。)

75 シテイラン ○シ「ナ」クツ「テモ 「イー」ヨ。

* (シテイラン とは言わない)

7 特定の副詞の関わる否定表現

76 少しもはかどらない ○「ア¹ツクテ ちッ¹ト¹モ ス¹スマナイ。

* (ハカドラナイ とは言わない)

77 ぜんぜんできていない ①「マ¹ダ 「ゼンゼン ヤッテナ¹イ¹ノ。 ②「マー¹ダ
ヤッテ¹ナ¹イノ。

78 いっこうに降らない ○「ア¹メガ ちッ¹ト¹モ フ¹ラ¹ナイ。

79 あまり降らない ○コ¹トシモ ア¹ンマリ フ¹ラ¹ナイ。

80 (予想外に)たくさん

1) ○「ワ¹ー タク¹サントレタナー。

2) (「トッピョーシモナイ」ということばはあるが、これは「トッ¹ピョーシモネ¹
ーコト 「ユー」のように使う。「トンデモナイ」より強調した言い方で、「常識
的ではないことを言う」という意味。「トッピョーシモ ナク トレタ」という言
い方は不自然に感じる。)

8 その他の否定形式の関わる諸表現

81 (行かなくても)いいではないか ○「ワ¹ザワザ イ¹カナ¹クッテモ イー¹ジャ¹ナ
イ。

82 (行かなくても)いいのではないか ○「ワ¹ザワザ イ¹カナ¹クッテモ {①「イー
ヨ ②「イーン¹ジャナイ↑〈誘導〉 ③「イン¹ジャ¹ネ¹ー¹ノ}。

* (②は最近のことば、丁寧な言い方)

* («エーノントチャウカ」のように言うことはない。)

83 (行かなくても)いいかもしれない ○「ワ¹ザワザ イ¹カナ¹クッテモ 「イー¹カモ
シレナイ¹ネ¹ー。

84 行かないか ○イッ¹ショニ {①イ¹カナイ¹カ↑ ②イ¹カナイ↑〈誘導〉 ③イ
「コー¹ヨ}

* (②は男でも言う)

85 (持って)くれないか ○「チョット 「モ¹ッテテクン¹ナイ。

86 (持って)くれませんか ○「チョットコレオ 「モ¹ッテテクレマ¹セン¹カ。

87 (持って)くださいますか ○ス¹イマセ¹ン コ¹レオ¹モ¹ッテイテ イ¹タダケマ
「セン¹カ。

88 行かないと(勧奨) ○「ハ¹ヤク {①イ¹カナ¹キャ オ¹クレル¹ヨ ②シ¹ロ¹ヨ
③イ¹ケ¹バ↑〈誘導〉 ④イッ¹タ¹ラ↑〈誘導〉}

* (①は、イカナキャ だけで終わるのは不自然)

III 総括(まとめ)

① 動作・作用の否定表現

否定の助動詞〈ない〉の終止形・連体形は、融合した「ネー」という形よりも、連母音のまま「ナイ」という形で回答されることが多かった。形容詞〈ない〉も同様である。

話者によると、「昔からのごく親しい相手と打ち解けた調子で話す時、特に相手も昔ながらのことばで話してくるような時なら、「ネー」という言い方もする。しかし今はそのような言葉遣いで話す相手がいなくなってしまった。」という(項目1,4,30,31,34の話者による説明を参照)。これは、「ネー」に限ったことではなく、伝統的な東京のことばらしい特徴全般について言える状況なのであろう。

② 存在・状態・判断の否定表現

動詞および形容詞による否定表現では、単純な否定(〈行かない〉〈暑くない〉など)と取り立ての助詞「は」を介した否定(〈行きはしない〉〈暑くはない〉など)との区別がある。1「イカナイ」「イカネー」と34「イキヤーシネー」、33「アツクナクッテ」と「アツクァナイ」などのように。

しかし、形容動詞による否定表現では、両者の区別がない。39,40「ニギヤカジャナイ」など。つまり、単純な否定(〈にぎやかでない〉など)も「は」を介した否定(〈にぎやかではない〉など)も、両方とも、「は」を介した否定に対応する形(「ニギヤカジャナイ」)で表される。単純な否定に対応する形(「ニギヤカデナイ」)は用いられない。したがって、「は」を介した形(「ニギヤカジャナイ」)は、強調や取り立てを表す場合だけでなく、特にそのような特別な意図のない、単純な否定の場合にも用いられることになる。この点は名詞による否定表現も同様と思われる。

④ 否定の応答表現

否定の応答辞は、「ヤー」「シー」「イーエ(丁寧)」である。

否定の問いかけ(「降らなかったか」)に対しては、肯定の回答(「降った」)の場合は肯定の応答辞(「アー」)、否定の回答(「降らなかった」)の場合は否定の応答辞(「シー」)で応答している。これは、日本語(共通語)の応答辞の用法として一般に言われていることと一致しない。用いられた「アー」「シー」という表現が、はっきりとした肯定・否定の意味を持った応答辞ではなく、その他の感動詞であった可能性もある。

⑤ 不可能の表現

状況可能と能力可能の区別はない。

⑥ 反語・反発の強調表現

項目72,73,74では反語表現の回答は得られなかった。72,73については、言語体系上これらの表現が存在しないのか、それとも、体系上は存在するものの使用されにくい表現であるのかは不明である。一方項目74では、話者の方の説明にあるように、「ヤレルモンカイ」という反語表現は存在する。しかし、これは非常に強い否定の表現であるために、特にこのような相手の能力を否定する文脈では用いられにくい。

また、強調の意図を表すために、語頭の1拍目または2拍目が、1拍または半拍分伸ばされるといふ韻律的特徴が見られる。69「ソン(-)ナコト」、70・71「ソナーナトコエ」、71・72「ナーンデ」、71「マーダ」など。(71では、「マダ」を用いた①と「マーダ」を用いた②とを対比して、②の方が「強い」との話者の説明がある。)

お仕事のおありのところ、時間をとっていろいろとお教えくださった、話者の三浦秀雄さんに感謝いたします。

(みつい はるみ 昭和女子大学短期大学部)